



苗彦

ふれあいだより



京都丹の国農業協同組合
(JA京都にのくに)



[ja_kyotoninokuni](https://www.instagram.com/ja_kyotoninokuni)



良質な子牛の繁殖に力を注ぐ本田文夫さん

P3. 2019年 新春座談会

P6. キラリ＊アグリびと



JAグループ京都は、京都マラソン2019を応援しています。

2019
vol.257

1

新年のご挨拶

あけましておめでとーございませう。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中はJA運営に対するご理解、事業活動への積極的なご参加に対し心から感謝いたしますとともに、本年も変わらぬご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

昨年は、(公財)日本漢字能力検定協会による1年の世相を表す漢字に「災」が選ばれましたように、7月の西日本豪雨や度重なる台風の襲来は、当JA管内の農業施設や生産活動をはじめ私たちのくらしに大きな影響をもたらしました。被害に遭われた皆さんには一日も早い復興をお祈りいたします。また、これらの災害に加えて農業生産の場においては、

夏場の酷暑、秋の刈り取り時期の長雨など大変な思いをされたことと思ひます。

その中で、万願寺甘とうは地理的表示(GI)保護制度に登録されるからGIマークを付けての本格的な出荷開始や、全国茶品評会では当産地のお茶が「かぶせ茶」の部で11年連続産地賞を受賞、当管内で栽培されたお米が京都市内の某有名ホテルで利用されるなど生産者の皆さんと一緒になった取り組みが成果となつて「農業所得の増大」「農業生産の拡大」に繋がったことは喜ばしいことでした。

迎えましたこの年は「亥年」です。亥年は、イノシシの肉が万病に効くとの言い伝えから「無病息災」の年

と言われています。今年も農業生産と私たちのくらしが安心して過ごせる平穏な年でありませうことを願ひしております。

しかしながら、JAの組織・事業運営を巡る状況は決して平穏なものではありません。当JAでも「JA自己改革」の取り組みを皆さんにしっかりと伝えしながら地域農業の振興や地域社会の活性化、JAの健全経営に引き続き努めて参ります。また、今年もJAグループが向こう3か年の取り組み方針を決定するJA大会が開催される節目の年でもあります。農協改革に限らず働き方改革をはじめ、ありとあらゆる改革が進められようとしている中で、各JAでは創意工夫をし経

営改革をすることでより良い組織・事業・運営体制を作り上げることが求められておりますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

結びに当たり、組合員はじめ地域の皆さんのJAへの更なる結集のもと、JAグループ京都をはじめ各関係機関の皆さんのご指導ご支援をいただきながら良きJAとなりますよう役員一同努めて参りますので、よろしくお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

京都丹の国農業協同組合
役員一同



青壮年部
JA常勤役員との意見交換会

青壮年部活動とJAの事業のさらなる発展をめざして
JA常勤役員との意見交換を毎年行っている。

- 出席者(敬称略)**
- 青壮年部**
- 荻野 功治(部長)
 - 西山 和人(副部長)
 - 森 剛(副部長)
 - 武田 敏和(役員)
 - 佐古田 勇一(役員)
 - 河北 卓也(会計)
 - 中田 義孝(綾部)
 - 西山 秀人(綾部)
 - 土田 正博(福知山)
 - 夜久 乾太(福知山)
 - 吉川 直人(福知山)
 - 佐藤 正之(舞鶴)
 - 添田 潤(舞鶴)
 - 岡安 賢治(舞鶴)
 - 岡本 浩明(舞鶴)
- JA京都にのくに**
- 迫沼 満寿(代表理事専務)
 - 荒木 隆義(営農経済担当常務)
 - 足立 良明(資金共済担当常務)
 - 安達 信宏(企画管理部参事)
 - 向山 聡(営農経済部長)
 - 長澤 睦男(資金共済部長)
 - 栢分 良明(営農経済部次長)
 - 半林 正明(経済企画課長)
 - 大槻 浩也(営農支援販売課長)
 - 松宮 徹
 - (綾部広域営農経済センター長)
 - 山本 美樹
 - (福知山広域営農経済センター長)
 - 諏訪 裕
 - (舞鶴広域営農経済センター長)

2019年
新春座談会

地域の農業振興に向けた
連携と関係強化

今回の座談会では、地域農業のリーダー・担い手である青壮年部と常勤役員が、JA事業および青壮年部活動の継続・発展と、JAグループが取り組む自己改革の実現に向けてJAと青壮年部・担い手との連携・関係強化について意見交換を行いました。

「特産TAC」の
担う役割について

荻野 今年度からスタートした広域営農経済センター体制について、期待をしておりますが、まだ本来の機能が発揮されていないように思います。特に、新体制の中核を担う「特産TAC」が活躍できていないように感じます。組合員が期待する広域センター体制の定着をお願いします。あわせて、青壮年部とTACとの意見交換の場を設けていただきたいのですが、いかがでしょうか。



荻野 功治さん

させ、機能をしっかり発揮できるように努めて参ります。新体制への移行がスムーズに行えなかったのは、従来のやり方を踏襲してしまったことだと考えています。「特産TAC」についても、機動力を充分発揮できていないと認識しており、課題を整理して生産者の皆さんと対話をしながらしっかりと「出向く体制」を整えて参ります。

それから、ご要望いただいた青壮年部とTACの意見交換ですが、JAとしてもぜひ行いたいと思いますので、早急に日程を調整し、年度内に実施できるように準備を進めていきます。

迫沼 新体制の基本的な方向性は、営農指導の強化です。TACという仕組みを導入して11年が経過し、一つの成功例として表彰も受けております。これを発展させ、営農指導に専念できる体制と指導員を育成する環境を作ることが「特産TAC」を新設した目的です。営農指導に専念するとともに組合員の皆さんとのふれあひの中でいただいた貴重な意見をもとに、よりよい体制を構築していきたいと思っております。

添田 私はTAC設立当初のメンバーに育てられた農家だと思っています。あの頃とはいろいろと状況も変わっていると思いますが、今回「特産TAC」に任命された若手の職員さんもおられますよね。若手職員ならではの意見も活かして欲しいと思います。

迫沼 いろんな意見や提案がしやすい環境を整えていきたいと思っています。

J A京都にのくにの未来像について

西山 我々青壮年部は、J A京都にのくにの一員としてこれからも地域の農業振興に携わっていききたいと思っています。特に、管内を代表する特産物「万願寺甘とう」は一昨年、地理的表示(GI)保護制度に登録され、一緒になって産地を盛り上げていかなければならないと考えています。そういった青壮年部の思いもくんでいただき、J A京都にのくにの未来像についてわかりやすくお聞かせください。

迫沼 我々は、J Aグループのめざす姿やJ A京都にのくにの次期3か年の方向

性の実現に向けて取り組みたいと考えております。その中でJ Aの未来像は、組合員さんとの話し合いの中で決まってくるものです。そのためにJ Aは組合員さんといろんな話し合いをしながら、判断していただく機会をつくっていかねければならないと考えています。

また、J Aグループは自己改革を進めております。その取り組みも含めて、J Aの活動を組合員の皆さんに伝えることが大事です。そこで、自己改革をより多くの方に知っていただくために、独自に資料を作成し様々な場での活用や、ホームページで公開しています。このように、情報を発信し、組合員さんと課題を共有して、ご意見をいただく機会をつくっていく必要があると感じています。

岡安 J Aの未来像は組合員とともにつくっていくことはよくわかりました。そこで、少し踏み込んだ意見になります。理想を実現するために必要な経営基盤を強化してほしいと思っています。

迫沼 経営基盤の強化については、J A自己改革の実現において重要課題であると捉えており、今後は受益者負担について見直してこうと考えています。例えば、育苗センターや共同乾燥調整施設の利用率、当J Aが平成9年に合併して以降、一度も変更していない販売手数料についても見直しが必要で、事業の

利用に際してご負担いただくわけですから、一番公平だと思っています。ただ、この点に関しては組合員の皆さんに今以上のご負担をお願いするわけですから、しっかりとご説明し、議論する機会を設けたいと考えています。

秋の夢彦フェアについて

森 秋の夢彦フェアはJ A全体のイベントであり、青壮年部としては盟友相互、また来場者との交流の場として大変重要なものでした。この点については他の組合員組織も同じ気持ちであると思います。中止となった理由を改めてお聞かせください。



森 剛さん

安達 おっしゃる気持ちはよくわかります。J Aとしても本イベントは乗り越しいただいた方への感謝と、元氣なにのくにを見ていただく場として大切なものでした。残念ながら中止となりました最大の理由は、開催時の安全性の確保が困難であったことが挙げられます。開催日は会場周辺で交通渋滞を引き起こすなど、近隣住民の方々にご迷惑をお掛けしております。様々な事情を考慮し総合的に判断した結果、従来の会場での開催では課題を解決することは困難であり、やむなく中止を決定いたしました。

森 他の施設の利用は検討されなかったのでしょうか。

安達 その点についても検討いたしましたが、難しいと判断しました。

秋の夢彦フェアは中止とさせていただきますが、今年度はJ A各支店の支店活動活性化委員会が中心となり「支店まつり」を開催しております。地域のより身近な場所で開催し、ご参加いただきやすい環境のもとで地域の活性化に取り組んでおります。青壮年部の皆さんにはすでにご協力いただいておりますが、改めて地域の活性化に向けお力添えをお願いいたします。

万願寺甘とうの選果場について

武田 選果場の人員不足や、J A職員による選別作業のことを聞いておりますが、本来、職員にはそれぞれの大切な業務があるはずで、選果場は非常に大切な施設であり、将来的には更なる生産量・出荷量増大のために選果機など一層のオートメーション化が必要と考えます。以前より要望しておりますが、目途は立っていないでしょうか。

荒木 選果場の人員不足は深刻です。運営継続のためにも、人員確保に向けて万願寺甘とう部会協議会との協議を進めています。



武田 敏和さん



西山 和人さん



佐古田 勇一さん

農業経営での 人材不足について

佐古田 農業経営や規模拡大を進める

選果機の導入については設置スペースの確保や導入費用の負担も含め慎重な判断が必要です。ただ、不規則な果実形状の万願寺甘とうでは、全て選果を機械化することは困難であり、効率的な選果場運営のためにも個人選別は責務であると考え、生産者による選果は引き続き行っていました。個人選果基準の統一が課題でありますが、協議会との協議の結果、基準を明確にした上で生産者への指導を行うことが決まりました。また選果場は名称を検品場に変更し、生産者の意識改革を図ります。

迫沼 新たな情報技術の進歩に伴い、スマート農業の導入が急速に進む中で、JAの事業もより一層高い次元に到達しなければならぬと感じています。選果場運営も含めて、農業における情報通信技術（ICT）、ロボット技術の活用による省力化にしっかりと対応して参ります。



荒木常務

中で人材不足の声を聞きます。若い世代が就農しやすくなるよう、農繁期にお手伝いいただける方の確保を、行政等との連携も含めて検討していただけないでしょうか。

荒木 この問題につきましても、JAとしても対策を講じなければならぬと考えております。そこで、総合事業を活かした地域活性化の取り組みの一環として、農家からの求人情報を聞き取り、野菜の学校卒業生、彩菜館出荷者や利用者、年金友の会会員や准組合員などへ求人情報を発信できる仕組みづくりを検討し、次年度より開始する計画をしています。

向山 この取り組みを通じて、生産者の皆さんにご協力いただける方を発掘することはもちろんですが、JAでの水稻苗の配達や万願寺甘とうの選果場での作業に携わっていただける方も探したいと考えています。JAも生産者の皆さんと同じく人手が足りない状態の中で、生産者の皆さん、地域にお住いの皆さんとJAが一体となって農業を盛り上げる仕組みをつくりたいと思います。

佐古田 ここまで対応策の検討が進んでいることは驚きました。より多くの方に知っていただけるよう、情報発信をお願いいたします。

過去の要望について

河北 これまでに開催した意見交換会での要望について、進展のあるものや実現が難しいものがあればお聞かせください。



河北 卓也さん

●災害スタックチーム設立について

災害情報については現在、各市を中心に集まる仕組みが構築されています。その情報をもとに事後対応を行っております。今後の課題は、災害時におけるマニュアルの作成であり、青壮年部や生産者部会と協議して参ります。

●米部会の設立について

米については、正組合員の大多数が栽培する品目であり、部会設立に向けて検討会を行っております。今後も課題を整理し、部会設立に向け検討を重ねて参ります。

●彩菜館へのPOSレジ導入について

導入に向けた検討を進めており、詳

細は彩菜館の協議会で順次ご報告いたします。

●共乾施設への色彩選別機の導入について

今年度からカントリーエレベーターに導入いたしました。しかし、カントリーのもみすり量に対して能力が小さいため、限定的な使い方での品質の安定を図っています。

座談会を終えて

迫沼 本日は大変有意義な意見交換ができたと思います。いただいたご意見や要望については、実現のため最大限の努力をして参ります。

座談会で「JAの未来像」についてご意見をいただきました。皆さんの「JA京都にのくにの一員としてこれからもやっていく」という強い気持ち伝わりました。我々も同じ気持ちです。そこでJAからもお願いがあります。これからも組合員の皆さんと情報を共有し、しっかりと議論を重ね、地域の農業振興に向けて協同組合としての役割を発揮して参りますので、さらなるJA運営への積極的な参画をよろしく願っています。



迫沼専務

キラリ アグリびと

vol.29

繁殖頭数を増やす挑戦を続け 「京の肉」をたくさんの方へ

綾部市 本田 文夫さん(65歳)

58歳の時、お母様が営農されていた和牛繁殖農家を継ぎ、年々規模を拡大。家畜人工授精師や受精卵を移植するための資格を取得するなど、さまざまな挑戦を重ねてきた。京都丹の国和牛改良組合副組合長としても力を注ぐ。

良い子牛を育むため 牛たちの 飼料にもこだわって

にのくに管内で最大級の子牛繁殖農家である本田さん。24頭の母牛とその子牛たちを飼育しておられます。「うちのモットーは、環境に優しい循環型農業。飼料用稲や牧草を牛舎近くの田んぼで育てたり、あぜ道の草を刈って牛の餌にしたり……。そうやって育てた牛たちの糞尿を堆肥にして田んぼに戻して、できるだけ化学肥料を使わずに作物を育てています。輸入されてくる飼料は高いし、何よりも安全性と品質に不安があります。『これなら安心』と思えるものを厳選して一部は使ってるけど、できるだけ自分でつくった安全安心なものを作りたくってね」

何にでもこだわわる性格で、やりだしたら徹底してやるという本田さん。牛たちが動き回るゆったりとした牛舎や広々とした放牧地など快適な環境にもこだわ

わり、いかに良い子牛を育むかに尽力されています。「母牛を放牧地に放して適度な運動をさせておくと、お産が楽になるんです。もしお産で失敗したら1年ただ働きになるんで、少しでもお産が楽になるように牛たちの体をつくって、リスクを減らせるようにしておかんとね」

分娩介助は、子牛繁殖農家にとって、一番重要ともいえる大仕事。産気づいた牛にすぐ気づけるよう牛舎にカメラを取りつけ、安全かつ確実に子牛を取り上げられるよう工夫されています。「以前は、お産の前には何度も牛舎の様子を見に行ったりたけど、カメラを取り付けてからは家におっても外出先でも、スマホやタブレットで様子を見られるんで楽になりましたね。楽しい農業、楽しい牛飼いができるように。そして、これからも継続していけるように……。設備投資も大切にしたいかとね」



妊娠した母牛は放牧地に放し、適度な運動をさせながら安産になりやすい体をつくります。



牛舎近くの田んぼで、牛たちに与える牧草や飼料用稲も栽培。発酵させた牧草は、奈良漬けのような良い香り。



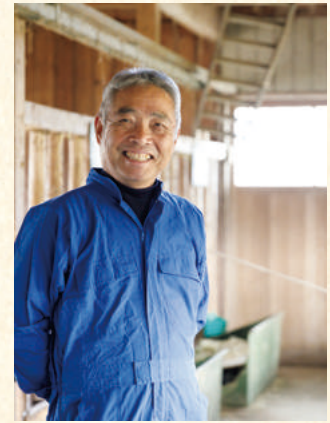
田んぼに囲まれた広い牛舎で、ゆったりと育てられています。



獣医師が施設を訪れ、2卵の受精卵を移植した母牛の妊娠鑑定。今回は1卵のみの着床でしたが、1/3ほどの確率で2卵の受精卵が着床する結果がでています。



種付けの結果を確認するために訪問した、営農支援販売課 山根一志課長補佐と情報交換。



子牛繁殖農家として様々なチャレンジを重ねている本田さん。

2卵の受精卵移植による双子生産に挑戦

よい牛をつくるための本田さんのこだわりは結果となって表れています。2017年には(有)京都丹波牧場に買い取られた牛が、第22回京都府家畜商業協同組合連合会共進会で最優秀賞となる「京都市長賞」を受賞。また、年間5回開催される子牛せり市では出荷するほぼ全ての牛に平均以上の値がついています。「大事に育てた牛が高く評価されるのはうれしいし、励みになりますね。うちで生まれた牛が共進会で最優秀賞になった時は自分でも買って食べたんですけど、とるけるように柔らかくてそれはもうおいしかったですよ。京都の和牛は、神戸ビーフや近江牛などの名だたる銘柄牛を抑えて、共進会で1位になることもあるほどおいしい肉。ぜひ、たくさんの方に食べていただきたいですね」

牛の妊娠期間は約10カ月。母牛の数を増やさないかぎり年間の子牛生産頭数を増やすのは難しいという状況を打破するため、本田さんは2卵の受精卵移植による双子生産に挑戦し3分の1ほどの確立で双子の着床に成功しています。「いろんなところで研究開発が進められている方法だけど、リスクもあるんでまだまだ取り組んでいる農家は少ないですね。だけど、誰かがチャレンジしないと技術は進歩していかんのでね」

日本では牛を育てる農家が年々減少し、慢性的に子牛の数が足りないという大きな課題がありますが、双子生産の技術が確立されれば特効薬になりそうです。「昨年からは新しい仕事を始めた関係で昼間は従業員に牛舎を任せてますが、まだまだ挑戦したいことがたくさんあります。確実に1年1産く2産を実現させ、これからよい子牛を育てていきたいですね」

■ 支店まつり

舞鶴西・何北・三和・加佐支店で開催

12月も各支店で「支店まつり」を開催し、たくさんの方にご来場いただきました。

2日(日)は舞鶴西支店、11日(火)は何北支店と三和支店、22日(土)には加佐支店がそれぞれ個性あふれるイベントを開催し、大勢の方にお越しいただきました。ご来場、誠にありがとうございました。



三和：ボン菓子いかがですか〜



舞鶴西：子どもたちが餅つき体験



何北：温かいぜんざいどうぞ



加佐：職員がハンドベル演奏を披露

■ 三和支店活動活性化

コミュニケーション麻雀楽しむ

三和支店活動活性化委員会は11月20日(火)、「コミュニケーション麻雀」プレ大会を開催しました。

「コミュニケーション麻雀」とは、通常の50倍ほどある大きな牌を用いて、頭と体を使って楽しむもの。2〜3人でチームを組み、牌を取るのを手伝いながら「どうぞ」「ありがとう」と声を掛け合ってコミュニケーションを図ります。今回はルールを簡略化してゲームを行いました。

参加者は「会話をしながら楽しめるうえに、立ち上がったたり、手を伸ばしたりして牌を取るの体にも適度な刺激があって良い」と話しました。



「どうぞ(^^)」「ありがとう」

■ 夢彦ドリーム倶楽部

第7回囲碁大会を開催

12月5日(水)、綾部市の中央公民館で「第7回夢彦ドリーム倶楽部(年金友の会)囲碁大会」を開催しました。会員28名が参加し、棋力別にA級・B級に分かれて対局。白熱した対局を通じて会員相互の親睦を深めました。



真剣勝負で対局する会員

管内農業関係法人名簿 (JAグループ京都法人協会会員) 敬称略

平成30年12月

市	法人格	法人名	代表者名	市	法人格	法人名	代表者名
綾部市	株式会社	白道路興農会	平田 義祝	福知山市	株式会社	ファームきぬがわ	衣川 重人
	株式会社	上八田ファミリー農場	塩尻 泰一		株式会社	半田営農株式会社	福田 恭衛
	株式会社	アグリテックいかる	横山 侃		株式会社	土成茶園	大槻 成利
	株式会社	志賀郷北部農産	岡 正幸		株式会社	八百丹	三崎 要
福知山市	農事組合法人	鬼の里農園	新井 春男		株式会社	Season	久保 世智
	有限会社	田舎暮らし	中島 健太郎		株式会社	アグリイベリス	後守 貴博
	合同会社	丹波の里ひぐち農園	樋口 泰夫		株式会社	よほろファーム	木下 千尋
	株式会社	大門ファーム	拝野 正美	農事組合法人	大浦ファーム	谷口 和	
	農事組合法人	かわい	土佐 祐司	株式会社	椋本営農	椋本 和明	
	株式会社	板生ファーム	松本 良明	株式会社	下東農産	由里 富美夫	
	株式会社	アグリサポート夢	迫沼 満寿	有限会社	三和鶏園	山元 淳一	
				舞鶴市			

■ 第28回JA京都府大会

協同の力で地域がつながる 豊かな未来へ

12月2日(日)「第28回 JA 京都府大会」が京都市のリーガロイヤルホテルで開催され、生産者組織・青壮年・女性組織の代表者やJA 役職員など約600名が参加しました。本大会は3年に1度開催され、向こう3か年の基本方針となる大会議案を決議します。

今回は「協同の力で地域がつながる豊かな未来へ～新たな時代への挑戦～」をスローガンに掲げ、4つの実践事項として ①未来につながる元気な京都農業の構築 ②JAの活動を支える組織基盤の強化 ③JA経営の健全性向上の実践 ④「食」「農」「協同組合」にかかる府民・国民理解の醸成を提示。これらの方向に沿って個々に掲げる目標を着実に実現していくことを確認しました。

また、大会では農業振興功労表彰と非常勤役員表彰が行われました。当JAからは坂田悦夫さん(八田支店)、JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会が農業振興功労表彰、林三弘副組合長が非常勤役員表彰を受章されました。



次期3か年の基本方針を決議



代表受章する林副組合長

■ 「野菜の学校」綾部校

お正月用しめ縄づくり

野菜の学校綾部校は12月20日(日)にお正月用のしめ縄づくりを行い、伝統的な正月飾りの作り方を学んでいただきました。

参加した受講生は「最近はお店で買ったものを飾っていたけれど、今回は手作りのしめ縄を飾れるので、いつもとは少し違った気分で新年を迎えられそう」と、仕上がりに満足した様子で話しました。



この作業が仕上がりが左右します!

■ 第72回全国茶品評会「かぶせ茶の部」

綾部市が連続産地賞の快挙

第72回全国お茶まつり東京大会が12月14日(金)東京都・日本橋プラザで開催され、出品者・JAより7名が参加しました。

この品評会には「かぶせ茶の部」に両丹地区から37点を出品。1等では2席(農林水産省生産局長賞)を獲得された綾部の出口則明さんをはじめ、5席中4席をにのくに勢が占めました。

このほか、部門ごとに成績優秀な市町村に対して表彰される「産地賞」は、綾部市が2年連続5度目の優勝旗を獲得。山崎善也綾部市長と中田義孝綾茶連会会長が登壇し、受賞されました。

この賞においては、平成20年の綾部市から受賞が続いており、今回で11年連続の当JA管内からの受賞の快挙となりました。



受賞を喜ぶ生産者と山崎市長

謹賀新年

地域農業の維持・発展に寄与すべく

邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

JAグループ京都農業法人協会 会員一同

市	法人格	法人名	代表者名
綾部市	株式会社	天野	村上 静史
	株式会社	farmu labor 農希	市田 幸司
	農事組合法人	たち	大槻 昭男
	農事組合法人	アグリさんが	上田 均
	農事組合法人	えーのー小西	四方 均
	株式会社	農夢	四方 勝一
	有限会社	両丹いきいきファーム	中田 義孝
	農業生産法人	グリーンファーム鷹栖	四村 義治
	株式会社	綾碾	中田 義孝
	株式会社	丹波西山	西山 和人
	株式会社	篠営会	相根 謹一



優秀賞に輝いた奥本さん(前列右)とはなみずきグループ・女性部本部役員の方々

女性部

joseibu-dayori

だより



家の光活動体験発表大会

優秀賞に奥本えつ子さん

11月26日(月)京都テルサで「JA京都府女性部・家の光活動体験発表大会」が開催されました。JA京都にのくからは「JA女性部活動の部」で舞鶴ブロック・はなみずきグループの奥本えつ子さんが発表し、見事優秀賞を受賞されました。

「女性大学での学び・仲間との出会い」そして「未来へ」と題して、平成27年に女性大学プラチナ・カレッジ2期生として入校し、仲間とともに楽しく学ぶことができた数々の講座や、受講後すぐ役に立った認知症サポーター研修などを紹介。卒業後は舞鶴の受講生たちで「はなみずきグループ」を立ち上げ、活発に活動している様子を発表しました。3年目となった今では、部員が講師となり生活教室を行っており、グループの主體的な活動が評価されており、受賞となりました。これからもチームワークを大切にして、女性部活動を盛り上げていきたいと抱負を述べました。

奥本さんは7月に開催される「近畿地区JA女性リーダー研修会」で京都府代表として発表されます。



JA京都にのくに 組合員限定 無料法律相談会

相続(遺言、遺言書作成、遺産相続、その他)、消費者問題、離婚など、あらゆる法律の相談にお答えします!

とき 平成31年2月20日(水) 13:00~16:00 ところ JA京都にのくに 本店 綾部市宮代町前田20 ☎ 0773-42-2092

担当弁護士 弁護士法人小西綜合 中川泰臣 弁護士

平成31年2月15日(金)までに、お近くのJA各支店までお申し込みください。後日相談時間をご連絡させていただきます。定員超過の場合は、ご希望に沿えない場合がございますので、ご了承ください。なお、本件に関するお問い合わせは、本店または各支店までお願いいたします。



お知らせ

団体(自治会・学校・任意団体等)でお持ちのお通帳について、代表者が交代された場合は代表者の変更のお手帳が必要となりますので、口座開設店にご相談ください。

組合員資格確認のお願い

当JA定款規定により、組合員加入申し込み時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動があった場合は、その旨を届け出ていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA支店窓口へお申し出いただきますようお願いいたします。

1. 正組合員資格

★5アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であり、その住所または農業に係る土地・施設が、当JAの地区内(※)にある。

★1年のうち、60日以上農業に従事している個人であり、その住所または農業に係る土地・施設が、当JAの地区内(※)にある。

2. 准組合員資格

★住所が、当JAの地区内(※)にある。

★勤務地が当JAの地区内(※)にあり、かつ、当JAの①資金の借り入れ、②貯金・定期積金、③農業生産資材・生活用品の購入、④共済加入のいずれかを1年以上継続して利用している。

★住所が当JAの地区外にあり、かつ、当JAの①農業生産資材・生活用品の購入、②JA直売所への農産物の出荷(生産する物資の運搬・加工・貯蔵又は販売)のいずれかを利用している。

(※)当JAの地区 綾部市、福知山市、舞鶴市の区域とします。ただし、福知山市については、下豊富・中六人部地域及び三和町、夜久野町、大江町の区域です。

なお、現在の組合員資格については、「平成29年度 出資配当および出資金残高のお知らせ」の記載内容をご確認ください。

JA京都にのくに からのお願い

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律が施行されたことに伴い、これまで同様特に長期間帳されていない貯金通帳・定期貯金証書がございましたら、お預け入れ支店にて記帳いただきますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、最寄りの支店窓口または、くらしの相談係までお気軽にお問い合わせください。

消毒も除草剤も
使わず育てた、
安全・おいしい
果樹をどうぞ!



彩菜館の 生産者に会いに行こう

「彩菜館」東舞鶴店 大槻 勝也さん(60歳)

Vol.31

無農薬での果樹栽培にこだわる大槻さんにお話を聞きました。

おいしい甘夏やみかんをつくるうえで大切なのが、太陽と潮風。大槻さんは、それらをたっぷり浴びる海の近くの傾斜地で、甘夏や金柑、レモンや栗など48本の果樹を栽培されています。「ここは、先祖代々守ってきた農地で、風でこすられて果樹に傷がつかないように竹林が植えられたり、人が手をかけなくてもおいしくきれいに育つ工夫がされています。最近では猿や鹿の被害に遭わないものしかつくれんけど、先祖代々の農地を守っていかなとね」

大槻さんがつくる甘夏は、通常の品種より甘みが濃い新甘夏。「スーパーのじゃなくて、大槻さんのが良い」と根強いファンがたくさんおられます。「収穫後に追熟させて、おいしい頃合いを見計らって「彩菜館」に出荷してるんでぜひ食べてみてください。うちの畑の果樹は、何十年も消毒も除草剤も使わず栽培してるんで安全・安心ですよ。手をかけなくても果樹がおいしく育つ環境を整え、年をとっても続けていきたいですね」

「年末感謝祭」を 開催!

12月16日(日)、「彩菜館」全4店舗で「年末感謝祭」(JAグループ京都農畜産物直売所連絡会統一イベント)を開催しました。

新鮮な旬の地元野菜を取り揃え、たくさんのお客様で賑わいました。また、1,000円以上お買い上げの方に先着順で、本誌2018年5月号でもご紹介した(株)棕本堂農様の「京都米サイダー」をプレゼントしました。



さいさい*くらぶ 「野菜・加工品詰め合わせセット」発送

農産物直売所「彩菜館」では、12月4日(火)にさいさい*くらぶ“農”応援コース「野菜・加工品詰め合わせセット」を発送しました。出荷会員から集められた地元産の新鮮野菜や加工品など全13品をお届けしました。

“農”応援コースでは、7月には「万願寺甘とう」または「丹の国茶」、9月には「丹の国穂まれ」または「紫ずきん」などのにく管内の農産物を発送しております。

来年度の加入受付は2019年4月1日(月)～6月30日(日)の予定です。



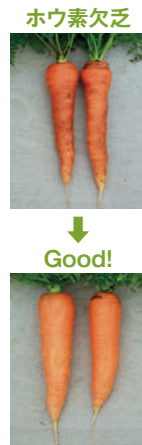
農林経済部の野菜づくり教室

微量要素って何？

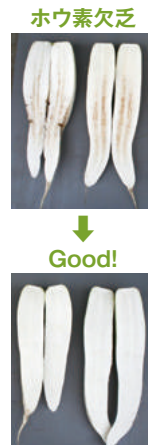
チッソ・リン酸・カリなどに比べて必要量が微量でよいものをいいます。微量でも作物の生育に欠かせない養分で、鉄・マンガン・ホウ素・モリブデン・亜鉛・銅・塩素などがあります。

微量要素が欠乏するとどうなるの？

せっかく育てた作物の生育不良や変色、枯れてしまうといった問題や、外観品質や収量が少なくなることがあります。



ホウ素欠乏



ホウ素欠乏

堆肥や有機肥料を入れていたら心配ない？

化学肥料に比べるといろいろな微量要素が含まれるので大丈夫と思いがちですが、微量要素が十分であるかは保証できません。特に堆肥にはマンガンを不活性化させる菌が含まれており、吸収を阻害してしまいます。

微量要素の種類と特徴

鉄 (Fe)

光合成に必要な葉緑素を作るのに必要で、欠乏すると葉が黄色や白くなります。

マンガン (Mn)

葉緑素やビタミンの合成にかかわる効果があり、欠乏すると葉に黄色や茶色の斑点ができてしまいます。

ホウ素 (B)

新芽や根の生育を促進し、欠乏すると新芽や根の生育が悪くなります。カリウムやカルシウムの代謝に関与し、欠乏すると根の生育や開花が悪く実が落ちやすくなります。

モリブデン (Mo)

主にビタミンの合成にかかわっていて、欠乏すると葉に黄色の斑点がでて変形してしまいます。

亜鉛 (Zn)

新しい葉を作るのに必要で、欠乏すると葉が小さくなり変形してしまいます。

銅 (Cu)

葉緑素をつくるのに必要で、欠乏すると葉が黄色や白くなり変形してしまいます。

塩素 (Cl)

光合成に必要で、欠乏すると葉の先端から枯れてしまいます。

硫黄 (S)

アミノ酸の合成に必要です。欠乏すると葉が黄色くなり生育が低下します。

※チッソの供給により硫黄の消費量が増えるのでチッソとのバランスが重要になります。

農産物の正常な発育に欠かせない6つの栄養素を補給するには何をやればいいの？

くみあい総合微量要素肥料『F・T・E』がおすすです。また、BMよりりんやBMとれ太郎などにつく「BM」も微量要素を含んでいる肥料として売り出されています。

F・T・Eはどんな肥料？

《特徴》

微量要素がバランスよく入り、作物の根からする酸により生育期間中にゆっくりと溶けて吸収されるように作られています。環境にやさしく、土壌の条件にあわせて効率的に使用でき、過剰害を引き起こす心配もありません。

施用後に深耕を行うことで、より肥効が高まります。

施肥時期はいつごろ？

元肥と同じように春肥や秋肥に使用してください。(基準施肥を年1回で大丈夫です)

TACのひと言

微量要素は作物によって要求量が異なります。特にアブラナ科のホウ素の要求量は大きく、また、管内の土壌はホウ素が不足しています。大根や白菜、ブロッコリー・キャベツなどには必ずF・T・Eを使用し、おいしい野菜を作りましょう

特産 TAC
(舞鶴広域農林経済センター)
竹村 英行

平成30年度 万願寺甘とう栽培を振り返って



今年度の万願寺甘とうは、生産者395名、作付面積1,628.2haで取り組みました。5月から11月にかけての出荷量は439,851t。販売高は過去最高の3億7,422万円となりました。

今年度は、ハウス・露地栽培ともに定植時期の天候が安定せず、寒暖差が大きい栽培管理の難しい気象条件でした。また、5月中旬以降は気温も安定し、順調に生育していきましたが、7月の豪雨により管内の多くの圃場が浸水して栽培を断念することになりました。更に7月豪雨後の猛暑では雨が降らない日が続き、定期的なかん水を行いました。遮光資材を設置されていない露地栽培ではうまく受粉することができず、果実が大きくならないまま赤果になり計画していた出荷量を確保できませんでした。その後も台風による被害を受けた圃場が増え、出荷量は当初の計画を大幅に下回りました。

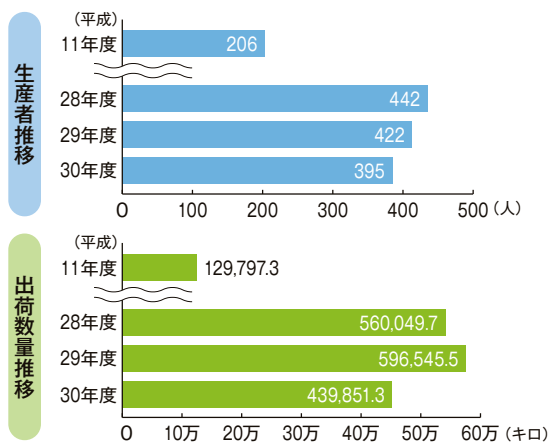
販売面では、これまでの販促活動の成果が表れて売れ行きは好調でした。また、今年度はGIマークを付けた本格的な出荷が始まり、舞鶴合同青果の子会社(株)彩(いろどり)への業務委託による優袋増産など、高単価での販売をすることができました。出荷量の減少で当初予定していた販売先からの注文に十分応えることはできませんでしたが、万願寺甘とうを求める声が大いなることを実感する年でした。今年度は異常気象により大きなダメージを受けましたが、次年度も起こりうる可能性があります。現在、ハウス栽培と露地栽培の割合は半々ですが、気象条件に左右されやすい露地栽培からハウス栽培への施設化を行い、安定出荷が可能な産地づくりが急務です。

今年度からGI登録産地として意思統一を図るため、部会役員と担当職員とで生産者全員と面談を行い、この面談会を通じて更なる強固な産地作りを確認しました。

■平成30年度「万願寺甘とう」実績表

	生産者	作付面積	出荷数量	販売金額
綾部東部	34人	87.4ha	17,067.3t	14,480,129円
綾部中部	36人	140.0ha	26,528.9t	21,177,600円
綾部西部	45人	195.1ha	51,143.8t	43,483,983円
福知山	50人	122.5ha	21,900.5t	17,374,876円
三和	28人	237.1ha	77,517.3t	68,122,452円
夜久野	59人	176.9ha	61,217.2t	50,318,390円
大江	20人	68.2ha	9,886.3t	8,168,862円
加佐	43人	284.6ha	80,197.8t	71,898,450円
舞鶴西	33人	123.0ha	36,973.5t	31,760,213円
舞鶴東	47人	193.4ha	57,418.7t	47,439,634円
合計	395人	1,628.2ha	439,851.3t	374,224,589円

*今年度から「並」を除外。



玄米の品質管理に高性能穀粒判別機を導入

JA京都のくには、出荷米の品質管理を目的に穀粒判別機を更新しました。

穀粒判別機とは、サンプル玄米から瞬時に整粒率や被害粒率などのデータ採取ができ、精米後のリスク軽減を目的に近年注目されています。従来品に比べ、より精密なデータ採取が可能で、農産物検査員による検査に加え、穀粒判別機のデータを取扱量が増える「直接流通米」の販売に活用し、信頼される産地づくりに取り組み有利販売に努めています。



農産物の品質・収量の向上へ土壌分析装置を導入

JA京都のくには、土壌診断に基づいた合理的な施肥を行うことにより、生産コストの低減と農産物の品質・収量の向上、過剰な肥料投入を抑えることによる環境に配慮した農業の推進を目的に土壌分析装置を導入します。

測定項目は、窒素・リン酸・加里・石灰・苦土・石灰/苦土比・苦土/加里比で、pH・ECは他の装置で測定します。

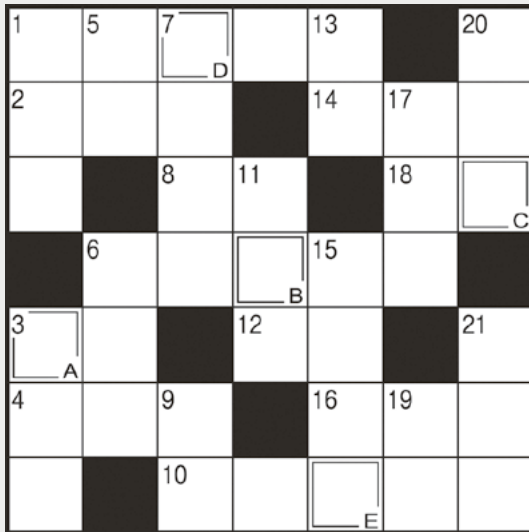
利用の手順や料金については追ってお知らせします。



クロスワードパズル



締め切りは1月18日(金)
【当日消印有効】発表は2月号



解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

- ① 障子よりは破れにくそうな建具
- ③ 彼は——東西の文学に詳しい
- ⑤ 素振り中のバットが切るもの
- ⑥ テンサイなどから作られる調味料
- ⑦ 漫談家が巧みな——で場を沸かせた
- ⑨ カキやタイラギ、トコブシなど
- ⑪ —— 考査。 —— 手当
- ⑬ 寒い日には氷が張ることも
- ⑮ 平成31年の十二支は
- ⑰ 闘鶏に使われる鳥。漢字で書くと軍鶏
- ⑲ 農具や収穫物を入れておく建物
- ⑳ 壁の——から風が吹き込んだ
- ㉑ 旅客機に乗ってためる人もいます



ヨコのカギ

- ① 輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- ② 1、2、3や一、二、三など
- ③ 『春の海』や『六段の調(しらべ)』を奏でる楽器
- ④ 小銭入れに入れる物
- ⑥ 鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- ⑧ 空からちらちらと降ってきます
- ⑩ 山田太郎さんだったらT・Y
- ⑫ 怒ると頭に生えるかも
- ⑭ 車窓を流れていくもの
- ⑯ 剣道で使う武具
- ⑲ ご来光を見るために登る人もいます



おたより募集

官製はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様に商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分も商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス/ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

6230053

京都府綾部市
宮代町前田20番地

JA京都にのくに
企画管理部係

あなたの住所・氏名・年齢・郵便番号・電話番号

① クイズの答え
② おたより・イラスト
③ ご意見
④ その他

②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。
※匿名希望の方は、名前の横に、その旨をお書き下さい。

前号当選者発表(敬称略)

上原千代幸(綾部市) 竹内英作(福知山市)
角山愛依(綾部市) 足立智保子(福知山市)
四方哲司(綾部市) 植村朗(舞鶴市)
匿名希望(綾部市) 山内知恵(舞鶴市)
藤田則夫(福知山市) 吉田美代治(舞鶴市)

応募総数81通 ご応募ありがとうございました。



12月号の答え トシワスレ

伝言板

小さな菜園ですが、2メートルの防獣柵で囲って安心して野菜作りが出来て本当に有難いことです。冬野菜も無事に育っています。

福知山市 藤本 八重子さん

毎号野菜づくり教室は大変参考になり、ありがたく読んでおります。

綾部市 岡本 直之さん

年末年始は毎年「今度こそ旅行にいきたい。家事から解放されたい!」と思うのですが、気付けばいつも集まる家族、親戚のために台所にずっといます…。

舞鶴市 匿名希望

今年の冬は暖かく、白菜は大きくなっただけれど、虫も元気で葉っぱがレースになりがっかり!

福知山市 神内 春美さん

夏は盛暑で夏野菜の出来が悪く、冬野菜は虫に食われてさんざんでした。

綾部市 大貝 貢さん

百姓の嫁に来て、若い頃は色々と苦労しましたが、今ではいい思い出となりなつかしく感じます。

舞鶴市 野瀬 敦子さん

11月末事業取扱高

● 組合員数 21,781人	● 貯金残高 1,528億4,758万円	● 長期共済保有高 5,716億2,502万円
正組合員数 12,542人	● 貸出金残高 347億5,390万円	● 購買品供給高 13億732万円
准組合員数 9,239人	● 長期共済新契約高 727億4,660万円	● 販売品取扱高 15億8,994万円

理事会報告

12月の理事会では次の事項が協議されました

協議事項

- ①次期3か年における JA京都にのくにのめざす姿
- ②資産査定事務要領の一部改正
- ③援農サポートの取り組み

報告事項

- ①月例報告
- ②平成30年11月末事業実績の概況
- ③今期3か年計画の進捗状況
- ④営農経済事業第3四半期重点取り組み
- ⑤利益相反取引完了報告
- ⑥余裕金の運用状況
- ⑦金融円滑化の対応状況

- ⑧共済金の支払い状況
- ⑨平成30年度JA共済コンプライアンス点検結果
- ⑩支店活動活性化懇談会の開催結果
- ⑪支店活動活性化委員会活動の支店祭り実施(予定)報告
- ⑫労働組合との交渉結果
- ⑬JA京都にのくに敷地内の禁煙実施
- ⑭代表運営委員会の開催
- ⑮組合員の加入・脱退

にのくに歌壇

志賀の里(綾部市)

電飾にびつくり箱のやうな庭
サンタクロース出てきさうなり

カチャカチャとチャンネル替へる夫のみて
雨の師走のこたつにふたり

年どしの夏を遊びしといこ遊き
若狭の海の色浮かびくる

何処よりか夜な夜な通う鹿のをり
実りし小豆数日に消ゆ

垂れてある外葉を大事に包みやる
菓のはちまき畑の白菜

こぼれ花カウンターに活け明るさに
しばしの時を忘れて遊ぶ

何故と問ふ自分のありて帰る道
気持ち伝ふる言葉のなくて

朝な朝な櫻落ち葉を掃きみたる
女の影なく通学路寒し

落ち葉踏み田んぼのぐるりの電気柵
コード片付け一年終へむ

4Kの画面に広がる冬花火
山形の空はバステルカラー

無堂の児童らの声高らかに
狂言奉納「首尾やう済みて」

初めての短歌にふれた寒き夜
親しみわいた詩の志賀郷

仕事終え空腹かかえ聴く短歌
引き込まれゆきこころ満腹

霧けむる我が山里に燻煙の
たなびきてをり音ひとつ無く

村上 富佐江

瀧本 幸子

千原 恵子

羽賀 順子

村上 嘉恵子

大槻 定子

加柴 道代

河北 幸代

倉橋 玲子

塩見 あや子

志賀 英子

竹原 友徳

前田 慶子

松下 二三夫

お知らせ

当JAの全ての施設は1月1日から、駐車場を含む敷地内全面禁煙となりました。ご協力をよろしくお願いいたします。

あとがき

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。皆さまは、平成最後のお正月をどのように過ごされましたか？私はハワイでのんびりしていると突然、体中に衝撃が…。気付くと自宅のベッドから転げ落ちていました(--)

ダイキ

旅する「お得な情報」!!

送迎日帰りバスプラン

15名様以上にてお申込み下さい

天橋立：宮津ロイヤルホテル

和食屋コース お一人様 6,000円*

鯛しゃぶコース お一人様 5,000円*

*有料道路代は別途必要です。

期間 平成30年 11月1日～
限定 平成31年 3月末日までの期間

お申し込み・お問い合わせは…
(旅行手配)

観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社農協観光 京都丹後営業支店 Tel.0772-62-6666
〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山397 旅行業務取扱管理者：野間浩美

ボンド保証会員
一般社団法人 日本旅行業協会
旅行業公正取引協議会 会員

JAマイカーローン

適用金利の対象期間

平成30年11/1(木)
▼
平成31年4/30(火)

適用金利は上記期間内にお借しいただいた方が対象となります。

乗りたい車に乗っちゃおう!

手続きもカンタン!!



- 自動車・バイク(中古車含む)の購入資金
- 修理・車検費用
- 運転免許の取得費用
- カー用品の購入・カーポートの設置資金
- 他金融機関からの借り替え資金

金利軽減項目のうちいずれか一つに該当すると

標準金利 **年3.0%~4.175%**が (変動金利) ※保証料別途

適用金利 **年1.30%** 変動金利 ※保証料別途

金利軽減項目

- JAで給与振込をご指定、または新たにご指定いただける方(5万円以上)
- JAカードをお持ちの方、または新たにご契約いただける方
- 公共料金2口以上の口座振替をいただける方
- JA所定のお取引をいただける方
- JAネットバンクを利用されている方、または新たに利用いただける方

インターネットで
簡単審査

24時間365日対応します!

JAネットローン | 検索

※審査結果については、後日JAよりお電話もしくは文書にてお客様へご連絡いたします。
※お申込み画面で表示するお借入利率には、保証料を含みます。



第19回 JA京都にのくに 生産振興大会のご案内

日時 平成31年1月26日(土) 13:00~16:00

場所 JA京都にのくに本店 大会議室

参集範囲 組合員(地区営農委員、生産者部会、営農組合組織、青壮年部等) 関係機関、JA役職員など



昨年度の生産振興大会